

『臨牀消化器内科』では2004年、2009年、2016年にB型肝炎の特集をしている。今世紀に入って4回目の特集である。B型肝炎ウイルス(HBV)は不思議なウイルスであり、いつまでも不思議がなくなる。

2004年の特集ではHBV genotypeに関する研究が最大のトピックであった。2016年の時の話題はHBワクチンの国民皆接種(universal vaccination)であった。治療では核酸アナログ治療が「深化」していった。2006年にエンテカビルが、2014年にテノホビル ジソプロキシルフマル酸塩が、2017年にはテノホビル アラフェナミド フマル酸塩 (TAF)が承認され治療選択の幅が広がった。小生が理事長を務めていた日本肝臓学会によって、B型肝炎治療ガイドライン(第1版)が策定されたのは2013年4月であった。まずはインターフェロン治療を考慮すべきであるが、核酸アナログ治療が主体となることが記載された。

今回の特集では「ポストC型肝炎時代」におけるB型肝炎が意識されている。B型肝炎はなぜ治りにくいのか、HBVは駆除できないのか、核酸アナログで制御されていても肝臓はゼロにならない実態、新規の抗HBV薬の開発状況などを、この領域のエキスパートにご執筆いただいた。読者の診療・研究の手助けとなれば幸いである。

(小池 和彦)

臨牀 消化器内科® Vol. 35 No. 2

©2020年1月20日発行

定価(本体3,000円+税)

年間予約購読は前金にて書店あるいは弊社宛お申し込み下さい。ただし、年間購読料は年度により異なりますので、書店または弊社までお問い合わせ下さい。

発行人 増 永 和 也

発行所 株式会社 日本メディカルセンター

〒101-0051 東京都千代田区神田神保町1-64 神保町協和ビル

営業直通電話(03)3291-3901(代) FAX(03)3291-3904

e-mail info@nmckk.co.jp

編集直通電話(03)3291-3971(代) FAX(03)3291-3377

e-mail gastro@nmckk.co.jp

郵便振替 00110-2-80695

印刷所 三報社印刷株式会社

・Published by Nihon Medical Center, Inc. ©2020, Printed in Japan

・本誌に掲載された著作物の複製権・翻訳権・上映権・譲渡権・公衆送信権(送信可能化権を含む)は(株)日本メディカルセンターが保有します。

・**JCOPY** <出版者著作権管理機構 委託出版物>

本誌のコピーやスキャン等による無断複製は著作権法上での例外を除き、禁じられています。複製される場合は、そのつど事前に出版者著作権管理機構(電話 03-5244-5088, FAX 03-5244-5089, e-mail: info@jcopy.or.jp)の許諾を得てください。

■広告申込所／日本医学広告社

〒102-0071 東京都千代田区富士見2-12-8 電話 03-5226-2791